

経営指導員が発見! キラ★星 企業

No.92

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。

そのなかで、当所経営指導員が会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



クランクシャフトの専門家

株式会社八瀬鉄工所は、クランクシャフト※加工のスペシャリストだ。主に船舶用エンジン・クランクシャフト製造で実績を積み上げ、その技術を様々な産業機械部門へ展開している。取り扱う製品は重さ50kg～5t、長さ600mm～6,000mmと幅広く、その独自の偏心加工技術をはじめとする専門性と、少量生産も扱う柔軟性はクランクシャフトメーカーには珍しい。同社のモノづくり精神は「早く」「正しく」「美しい」製品を届けること。品質や対応の全てにおいて、お客様への誠実な心で仕事に向き合うことを方針に掲げる。

料理人から鉄工所の社長へ転身、 すすめた自動化

5代目の八瀬弘司社長は、実は元料理人。先々代の祖母が亡くなり、後継者として姫路へ戻ってきた。戻ってから3年は現場に就いた。製造業の大変さや試されているという感覚に戸惑うこともあったが、元来の人と関わりながら物事を進めることが好きな性格と、なによりも鉄工所が好きという気持ちがあり苦には感じなかった。その後、当時の専務からの助言で、生産管理や営業、マネジメントに携わるようになった。リーマンショックではその影響を直に受け受注量が激減。必死の思いで不況を耐え抜き、なんとか落ち着いた2013年には新工場を建設した。そんな八瀬社長はより便利で良いものを作る設備を積極的に導入する。そこにはこれまで展示会や他工場で自動化・無人化された環境を目の当たりにした社長の、「クランクシャフトの特殊性やサイズなど他社との違いはあれど、自分たちだけが自動化できないはずはない。世の中のデジタル化に対応しなければお客様の要望にも応えられなくなる」という考えがある。

社長が魅せたいのは
カッコよくて美しいクランクシャフトと生き生きと働く社員の姿

株式会社八瀬鉄工所

代表取締役社長 八瀬弘司

社長食堂がパフォーマンス向上に つながっている

同社では、毎週月曜にランチのおともの汁物を社長が腕によりをかけてふるまう「社長食堂」が定番になっている。八瀬社長は「私がやりたいとやっているの、福利厚生のような堅いものとは思っていません。それでも、仕事はきっちり、それ以外はある程度の自由度を、とメリハリをつけられて、仕事のパフォーマンス向上にも一役かっていると思います。」と話す。

HPやSNSでズレのない 自社イメージを伝えられる

2022年には、新卒採用に取り組もうと自社のX(旧Twitter)を開設した。製造工程や社長食堂の様子など飾らない会社の日常をアップし、この1年でフォロワーは2,700人を超える。Xから直接の採用実績はまだないが、来年4月に入社予定の学生はホームページやSNSを見て、ここで働きたいと感じたという。

EV業界への進出を目指す

今後はEVに搭載するモーター部品を製造するためのプレス機械に内蔵するクランクシャフト製造を視野に入れている。他社の追随を許さないクランクシャフトの専門家として進化を遂げる同社の活躍に注目だ。

DATA

事業内容:

クランク軸加工(荒削、中削、油穴加工、仕上げ加工)、その他偏心軸、各種シャフト加工

所在地: 〒671-0254

姫路市花田町勅旨字橋爪90番地

電話: 079-253-1360

HP: <https://yase.co.jp/>

※クランクシャフト…

シリンダー内で発生した爆発エネルギー(往復運動)を、コネクティングロッド(コンロッド)を介して回転エネルギー(回転運動)に変換する。回転バランスはもちろん、強度、剛性、耐摩耗性が必要となるので、その材質には特殊鋼や特殊鋳鉄などが使用され、加工には高精度が求められる。



Instagram

X